

第103代 森林科学科39名が入学しました。

4月11日（火）に本校で入学式が挙行されました。昨年度とは違い大幅にコロナ対策が緩和され、マスクの着脱は個人判断となったことで、私たちも新入生の表情をしっかりと伺うことができました。今年度、入学した第103代森林科学科の入学生は39人。担任は地歴公民科の鈴木盛之先生が受け持ち、一人一人の名前を丁寧に呼名しました。

これから、およそ3年間かけて岩農・林科で多くのことを学習しますが、一番大切なことは「クラスの絆を強固にすること」と、「みんなで協力し合える雰囲気づくり」です。

まだ、遠い先のことのように思いますが、2026年3月1日に「岩農林科を卒業してよかった！」と考えるように、たくさんのことを経験して欲しいと願っています。



動力機械の講習修了

今年度のチェーンソー・刈払機講習会も4月19日・26・27日の3日間日程で北海道林業機械化協会様のご協力の下、無事に実施することができました。2日目は雨天の中、対象となった2年生は一生懸命に動力機械に係る知識や技術の習得に励みました。今回の講習をスタートとし、これからの演習林実習ではチェーンソーや刈払機を用いた造林造材実習が本格的にはじまります。今回の講習を忘れず安全に気を付けて実習しましょう。



3年生クラス意見発表実施

5月2日に行われる学科意見発表大会の代表者選出に向けて、各クラスでは意見発表大会が行われています。

3年生の発表では、これまでの演習林実習やインターンシップ実習、視察研修などの経験を踏まえた説得力のある意見や自分の進路目標を見据えた建設的な意見など、昨年に比べ聞き応えのある発表が並びました。普段はあまり見ることないクラスメートの真剣な一面を知る機会となりました。クラス代表に選ばれた皆さん、校内大会目指して頑張りましょう。



見本林にも春の訪れ

例年より雪解けの早い岩見沢。見本林では春の訪れを告げるエゾエンゴサクやフクジュソウなどのスプリングエフェメラル（春の妖精）と呼ばれる植物たちが姿を見せ始めました。樹木たちも活動開始です。

